

新型コロナウイルス感染症拡大状況下において、看護職の皆様への応援メッセージ

2020年12月22日

一般社団法人日本看護系大学協議会 代表理事 山本則子

一般社団法人日本看護系学会協議会 会長 小松浩子

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大により保健医療機関や介護施設サービス等ほどもひっ迫し始めており、地域により危機的な状況となっています。コロナ禍により日々緊迫した状況が続く中、自らの感染の不安を抱え、緊張しながら日夜を問わず看護を行っている全ての看護職の皆様へ心より敬意を表します。ケアの最前線で最善の治療を可能にし、苦痛を緩和する看護の力が今こそ必要とされています。どうぞご自身のご健康にも留意なさってください。

私たち日本看護系大学協議会と日本看護系学会協議会は、新型コロナウイルス感染症による医療・社会の危機にあたり、保健所、医療機関、介護施設等の現場の皆様とともに何かできるか模索を続けています。現場の看護職の皆様を少しでも応援したく下記のメッセージを発信します。

- 1) 感染者の増加、施設内クラスターの発生など、現場の状況はひっ迫しており、保健医療介護崩壊の危険性が高まっています。今後、看護職一人の力あるいは一施設の力では対応が困難な状況が予測されます。是非、看護系大学及び看護系学会に、新型コロナウイルス感染症のケアに関する最新の知見の提供や支援を求めてください。今、看護学の全分野の力を結集して対策にあたることが求められています。
- 2) 看護系学会による「新型コロナウイルス感染症に関する専門的な知見」を日本看護系学会協議会ホームページ (<http://www.jana-office.com/fatality/covid-19/>) より発信しています。感染症対策のみならず、コロナ禍での療養やセルフケアについて皆様に活用いただける看護の知や技を提供しています。ぜひご活用ください。
- 3) 新型コロナウイルス感染症の病態の解明や効果的な予防・治療開発がまだまだ途上にある中、医療従事者は最善の医療・看護を提供し、国民の健康と命を守っています。困難な状況のなかで工夫され、乗り越えられていることがありましたら、それは他の機関にとっても役立つ可能性があると思われます。そのような実践知は、これからも続くと思われる新型コロナウイルス感染症対策において重要な知見となります。社会に向けて時機を逸することなく発信頂きますようお願い致します。発信に関しては、看護系大学および看護系学会とぜひ連携、ご相談ください。どうぞ皆様のお声をあげてください。ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

* 日本看護系大学協議会：看護学教育の推進を目的とする 287 大学の団体

* 日本看護系学会協議会：看護学関連の研究を実施する 47 学会の団体